

# かわぐち消化器内科

## 第24回 胆のう腺筋腫症とは？

胆のうの壁の内部にはRAS(ロキタンスキー・アショフ洞)と呼ばれる袋状の空間があり、これが増大することで胆のうの壁が厚くなるのが胆のう腺筋腫症です。RASに胆汁がたまり、胆のう壁内結石が形成されることもあります。胆のう腺筋腫症は症状もなく、基本的に良性で悪性化しないとされていますので治療は必要ありません。大切なのは、胆のうの壁が厚くなる悪性の胆のう癌と区別することです。エコーでRASや壁内結石が確認される典型例では、エコーで十分鑑別可能ですが、さらなる精密検査としては、CT、MRIや超音波内視鏡検査があります。精密検査をしても鑑別が難しい場合もありますが、その場合は時間経過で変化がないかの確認が有効です。変化がなければ、胆のう腺筋腫症の診断となりますが、1年に1回のエコー検査で経過観察することが重要です。心配な方は専門医に相談しましょう。



院長 川口 義明



# かわぐち 消化器内科

TEL 045-830-5311

港南区港南台5-23-30  
港南台医療モール3F



〔診療時間〕

午前 9:00-12:00  
午後 16:00-18:00

〔休診〕

木曜・日曜・祝日  
(土曜午後)

